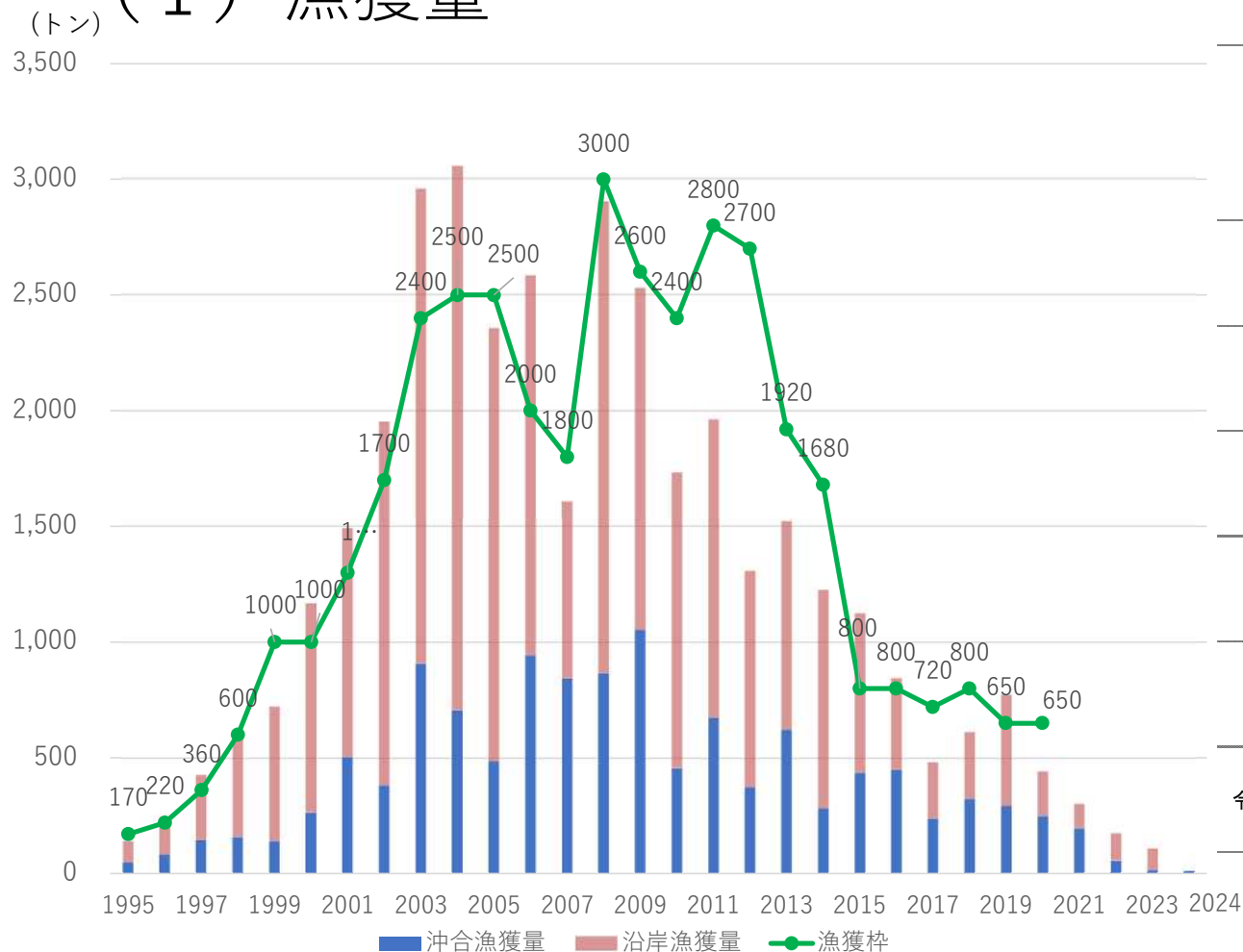


令和 7 年漁期の秋田県ハタハタ 資源管理・対策について

令和 7 年 11 月 11 日
秋田県水産振興センター

1. 漁獲状況

(1) 漁獲量



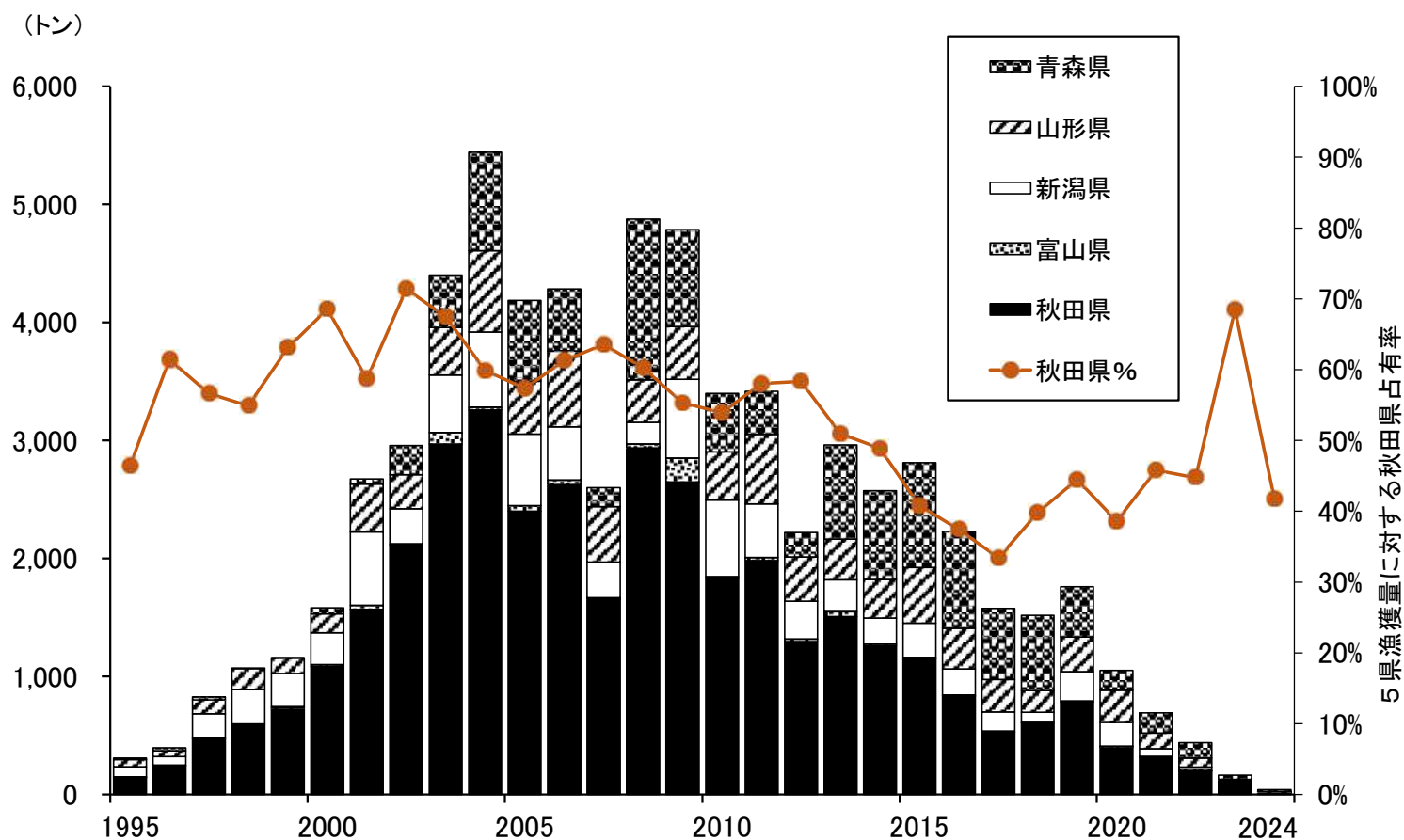
○令和6年度漁期は沖合15トン、沿岸2トンの合計17トン

漁期	管理期間	沖合(トン)			沿岸(トン)			計(トン)		
		漁獲枠	漁獲量	実績(%)	漁獲枠	漁獲量	実績(%)	漁獲枠	漁獲量	実績(%)
平成 7年	第1期	85	53	62	85	90	106	170	143	84
8年		110	86	78	110	158	144	220	244	111
9年		180	148	82	180	280	155	360	428	119
10年	第2期	300	162	54	300	438	146	600	599	100
11年		400	142	36	600	580	97	1,000	722	72
12年		400	265	66	600	902	150	1,000	1,166	117
13年		520	506	97	780	986	126	1,300	1,493	115
14年	第3期	680	384	56	1,020	1,570	154	1,700	1,954	115
15年		960	906	94	1,440	2,051	142	2,400	2,957	123
16年		1,000	707	71	1,500	2,349	157	2,500	3,055	122
17年		1,000	489	49	1,500	1,867	124	2,500	2,356	94
18年	第4期	800	943	118	1,200	1,640	137	2,000	2,584	129
19年		720	845	117	1,080	765	71	1,800	1,610	89
20年		1,200	866	72	1,800	2,035	113	3,000	2,901	97
21年	第5期	1,040	1,054	101	1,560	1,475	95	2,600	2,530	97
22年		960	457	48	1,440	1,277	89	2,400	1,734	72
23年		1,120	677	60	1,680	1,287	77	2,800	1,964	70
24年	第6期	1,080	376	35	1,620	931	57	2,700	1,307	48
25年		768	624	81	1,152	898	78	1,920	1,522	79
26年		672	285	42	1,008	940	93	1,680	1,225	73
27年	第7期	320	438	137	480	686	143	800	1,124	141
28年		320	450	141	480	395	82	800	845	106
29年		290	241	83	430	240	56	720	481	67
30年	第8期	320	325	102	480	287	60	800	612	77
令和 元年		325	296	91	325	479	147	650	775	119
2年		325	252	78	325	191	59	650	443	68
3年	第9期	-	199	-	-	105	-	-	304	-
4年		-	59	-	-	117	-	-	176	-
5年		-	18	-	-	93	-	-	111	-
6年	第10期	-	15	-	-	2	-	-	17	-

(2) 日本海北部5県における漁獲量

○令和6年(2024)1~12月の合計漁獲量<速報値>は、39トン(前年161トン)から122トン減少

○漁場が変化したわけではなく、資源量が減少



県別年間漁獲量

青森県 14トン (35トン)
 秋田県 17トン (110トン)
 山形県 4トン (4トン)
 新潟県 4トン (8トン)
 富山県 0トン (4トン)
 () 内は前年漁獲量

令和4年までは、農林水産統計の値
 令和5、6年は、水研データより

(3) 操業日数

○令和6年漁期に操業して水揚げ実績があったのは、岩館、八森、北浦、船川、平沢、象潟のみ

○船川、平沢、象潟については水揚げはあっても漁期を通して0.8～3kg程度

○沿岸全地区と沖合で水揚げがほとんどない状況

○底びき網で最も入った時で385kg／隻・日

漁法	地区	経営体数							経営体ごとの水揚げ日数							
		上限	実績	実績	実績	実績/ 上限	実績/ 上限	実績/ 上限	上限	実績	実績	実績	実績/ 上限	実績/ 上限	実績/ 上限	
			2022	2023	2024	2022	2023	2024		2022	2023	2024	2022	2023	2024	
刺し網	岩館	8	8	8	6	100%	100%	75%	12	7	5	4	55%	42%	33%	
	八森	14	14	13	10	100%	93%	71%	12	7	8	4	58%	67%	33%	
	道川	12	0	1	0	0%	8%	0%	15	0	1	0	0%	7%	0%	
	西目	10	3	3	0	30%	30%	0%	15	1	3	0	7%	20%	0%	
定置網	岩館	4	3	3	1	75%	75%	25%	12	8	7	3	64%	58%	25%	
	八森	5	4	3	0	80%	60%	0%	12	5	3	0	44%	25%	0%	
	能代	1	1	1	0	100%	100%	0%	12	2	4	0	17%	33%	0%	
	若美	2	2	1	0	100%	50%	0%	12	1	2	0	8%	17%	0%	
	五里合	6	4	1	0	67%	17%	0%	12	1	4	0	8%	33%	0%	
	北浦	8	6	6	7	75%	75%	88%	15	8	9	2	53%	60%	13%	
	船川	30	15	5	1	50%	17%	3%	15	3	2	1	23%	13%	7%	
	脇本	6	4	0	0	67%	0%	0%	12	2	0	0	17%	0%	0%	
	天王	5	0	0	0	0%	0%	0%	12	0	0	0	0%	0%	0%	
	道川	1	0	0	0	0%	0%	0%	17	0	0	0	0%	0%	0%	
	平沢	1	1	0	1	100%	0%	100%	15	1	0	1	7%	0%	7%	
	金浦	1	1	0	0	100%	0%	0%	17	2	0	0	12%	0%	0%	
	象潟	2	2	0	1	100%	0%	50%	15	3	0	1	17%	0%	7%	
底びき網	全県	17	18	17	17	106%	100%	100%	22	7	3	3	32%	14%	14%	

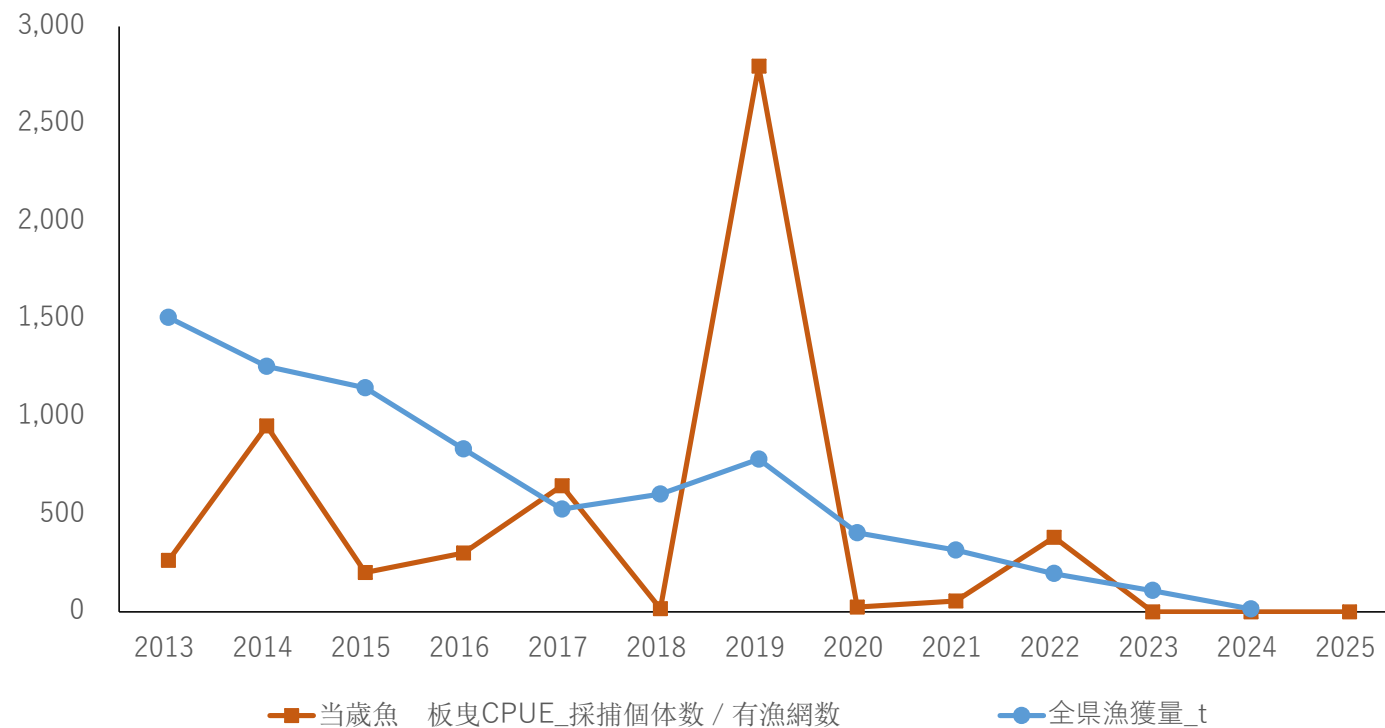
・底びき網の経営体ごとの水揚げ日数は、90kg以上を1日とカウント。

・底びき網の経営体数上限は2024年漁期から17とした。以前は18のため2022年は100%を超えている。

2. 調査結果

(1) 仔稚魚（0歳）

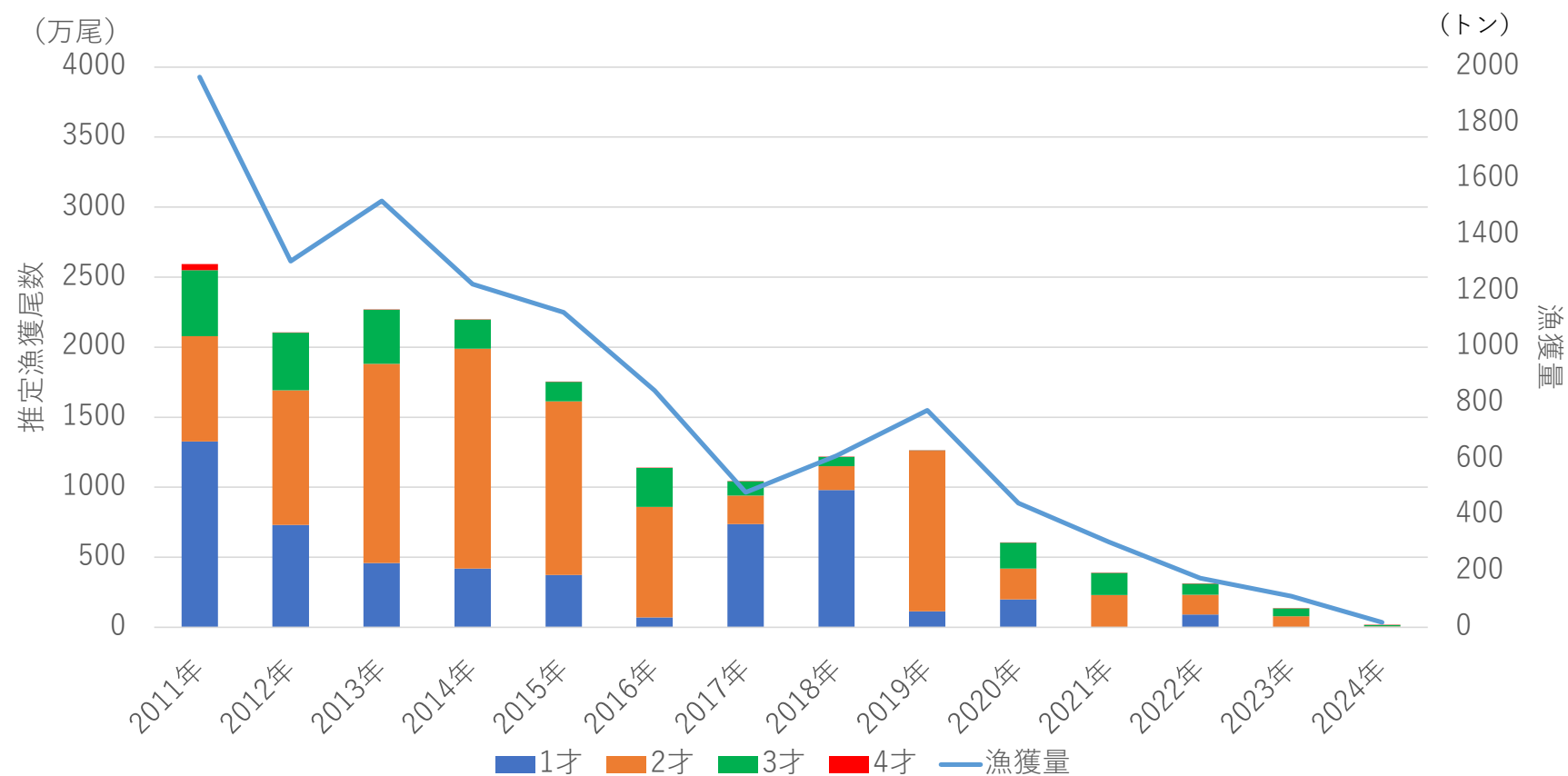
サンプル採取
千秋丸板びき網
当歳魚（0歳魚）の漁獲調査



- 2024年の調査では、2023年に引き続き仔稚魚（0歳魚）の採捕はなし。
- 2025年の調査では、5月13日に1尾のみ仔稚魚（0歳魚）を採捕した。

2. 調査結果

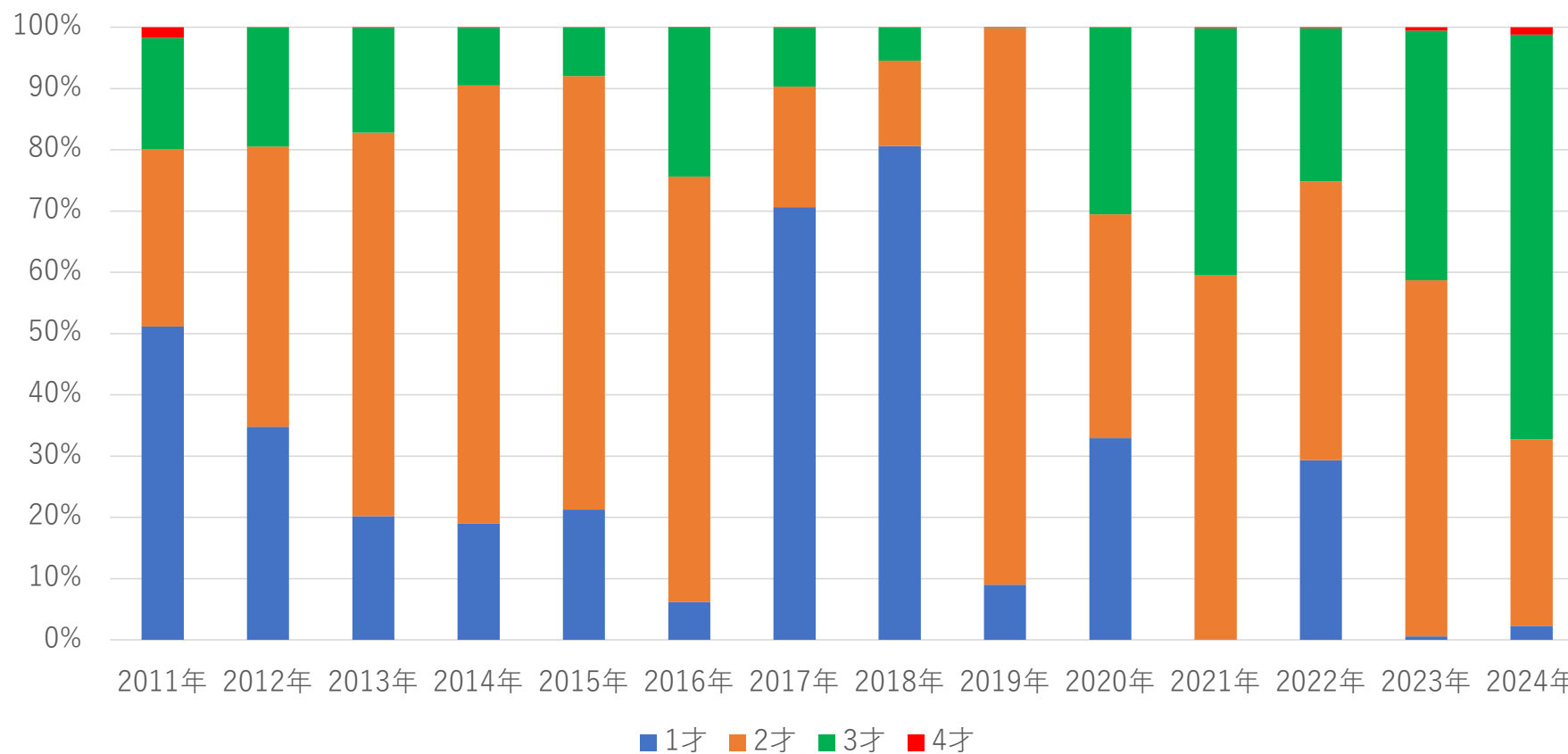
(2) 年齢別推定漁獲尾数



○調査で得たサンプルの年齢構成から各年齢の尾数を推定

2. 調査結果

(3) 推定漁獲尾数年齢構成



○2024年の推定漁獲尾数では3歳魚の割合が半分以上を占める

○近年は、1歳魚の加入が少なく3歳魚の比率が増加

3. 今漁期の考え方

- 資源推定の方法が漁獲量から計算しているため昨年の漁獲量からでは、資源量がほとんどないため漁獲はほぼないと推定。
- 昨年の海洋環境がたまたま接岸しにくい環境であった場合は資源量を過小評価している可能性がある。
- 今年は、資源状況を確認するためにも推定のためにデータが必要である。

【沖合】

- ・ハタハタを狙うより他の魚種を狙った操業を実施
- ・ハタハタが入ってしまった場合は漁獲努力量管理の枠内で実施

【沿岸】

- ・資源量の把握のために試験的に操業を実施
- ・本格的に獲れたら本操業へ移行し努力量管理の枠内で実施

（参考：漁獲努力量管理計画）

（別表１）

漁期年	漁法	漁獲努力量カウント方法	岩館	八森	能代	峰浜	浅内	八竜	若美	五里合	北浦	畠	戸賀	船川	脇本	船越	天王	秋田	道川	松ヶ崎	西目	平沢	金浦	象潟
令和 7	さし網	経営体ごとの水揚げ上限日数	12	12															15		15			
		経営体数	8	14															12		10			
	定置網	経営体ごとの水揚げ上限日数	12	12	12				12	12	15			15	15		12		17			15	17	15
		経営体数	4	5	1				2	6	8			30	6		5		1			1	1	2
	底びき網	経営体ごとの水揚げ上限日数	22	22										22								22	22	22
		経営体数	3	3										3								1	5	2
		経営体ごとの１日カウント漁獲量_kg	90	90										90								90	90	90

- さし網、定置網においては、モニタリングを実施する。
- 今期はモニタリング操業後に地区で本操業実施を判断する。
- 本操業は漁獲努力量の範囲内で実施する。